

様式 1

就職指導の改善に関する研究計画書

学校名	北海道	静内農業	高等学校
就職支援教員	氏名	岩瀬 大河	

1 就職に関わる学校の状況

	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	就職未内定者数	内定率	進路未決定者数
令和4年度（3月末）	40	23	23	0	100.0%	0
令和3年度（3月末）	45	29	29	0	100.0%	0
令和2年度（3月末）	34	14	14	0	100.0%	0

2 研究課題への取組概要 ※(1)～(4)のうち、重点事項には○印を記入すること。（複数可）

(1) 就職後3年以内に離職する早期離職の改善のための就職後の生徒に対する支援	
・ 卒業生が働いている各事業所へ電話や企業訪問等を行い、現状の把握と状況に応じて面談等を実施 ・ 各事業所やハローワークと連携を密にし、卒業生が離職した際に学校へ連絡が入るよう体制の整備	
(2) 就職未内定又は進路希望を設定できないまま卒業した生徒に対する支援	
・ 在学中に関係機関（ハローワーク、サポートステーション等）と連携し、支援体制を確立 ・ 過去3年間で卒業した生徒について情報収集に努め、状況に応じて面談等の支援を実施	
(3) 新規高等学校卒業者に係る就職慣行（いわゆる「一人一社制」）に関する状況の把握	
・ 生徒や保護者の状況についての情報を集める ・ 管内の進路指導研究協議会等で各校の情報を集める	
(4) その他、就職指導を改善・充実するための教育活動に関する取組	○
・ 履歴書指導や面接練習等のオンラインでの実践 ・ クラウドを活用した求人票の整理と生徒・保護者への情報提供 ・ キャリアパスポートを効果的に活用するための研究及び整備	
(5) 上記(1)(2)(3)(4)に係る成果の普及	
・ 職員会議等で校内の教職員に向けて研究成果の周知 ・ 道内や管内で開催される研究協議会等での研究成果の普及・啓発	

3 年間計画

月	内容	主な取組	月	内容	主な取組
4月	職員会議で教職員へ研究課題の周知	5	10月	高等学校進路対策会議での研究・発表	5
	進路指導対策会議での研究・発表	5		管内高校への就職慣行に関する状況調査	3
5月	クラウドで求人票の整理方法の整備開始	4	11月	地元企業と連携した企業説明会への参加	4
	キャリアパスポートを効果的に活用するための研究	4		未内定生徒と関係機関との接続	2
6月	各事業所、ハローワークとの連携	1	12月	卒業生の離職状況調査の実施①	1
	キャリアパスポートを効果的に活用するための整備	4		本校職員への就職慣行に関する状況調査	3
7月	クラウドで求人票の整理開始	4	1月	未内定生徒について関係機関へ情報共有①	2
	各事業所への電話確認・企業訪問	1		生徒及び保護者への就職慣行に関する状況調査	3
8月	オンラインで履歴書指導	4	2月	未内定生徒について関係機関へ情報共有②	2
	各事業所への電話確認・企業訪問	1		卒業生の離職状況調査の実施②	1
9月	Zoomを活用したオンライン面接練習	4	3月	各事業所との連携・情報共有	1・4
	オンラインで履歴書指導	4		ハローワークと未内定者の情報共有③	2

※月ごとの主な内容を黄色セルに記載してください。また、主な取組について、上記2(1)～(5)に当てはまる番号を付してください。